



深下腹壁動脈穿通枝皮弁を用いた乳房再建における 1 次 1 期再建と 1 次 2 期再建の乳腺切除量・皮弁採取量・皮弁移植量に関する比較

2019 年 05 月 01 日から 2023 年 03 月 31 日までに日本医科大学付属病院形成外科・再建外科・美容外科にて深下腹壁動脈穿通枝皮弁を用いた 1 次 1 期・1 次 2 期片側自家組織乳房再建手術を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「深下腹壁動脈穿通枝皮弁を用いた乳房再建における 1 次 1 期再建と 1 次 2 期再建の乳腺切除量・皮弁採取量・皮弁移植量に関する比較」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2019 年 05 月 01 日より 2023 年 03 月 31 日までに日本医科大学付属病院形成外科・再建外科・美容外科にて、深下腹壁動脈穿通枝皮弁による片側自家組織乳房再建手術を受けられた患者さんのカルテデータを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の間い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：深下腹壁動脈穿通枝皮弁を用いた乳房再建における 1 次 1 期再建と 1 次 2 期再建の乳腺切除量・皮弁採取量・皮弁移植量に関する比較

研究期間：研究実施許可日～2024 年 09 月 30 日

研究責任者：日本医科大学付属病院 形成外科・再建外科・美容外科 助教・医員 井上真梨子

(2) 研究の意義、目的について

1 次 1 期再建は乳腺切除と同時に再建手術をする方法で、1 次 2 期再建は乳腺切除の際にティッシュエキスパンダーを挿入し胸部皮膚の拡張を行った後、時期を置いて再建手術をする方法で、それぞれの再建方法のメリット・デメリットがあります。自家組織乳房再建においては、それぞれの違いを念頭において手術を行うことが大切です。本研究ではそれぞれの再建方法における乳腺切除量や皮弁採取量や皮弁移植量に焦点を当てて比較検討を行います。尚、皮弁とは腹部の脂肪組織と皮膚を血管付きで採取したものです。適切な値を知ることで乳房の形態がより綺麗に形成できることに役立ちます。それらの結果に対して文献的考察をし、今後の手術に役立てていけることを目的と致します。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2019 年 05 月 01 日より 2023 年 03 月 31 日までに日本医科大学付属病院形成外科・再建外科・美容外科にて、深下腹壁動脈穿通枝皮弁による片側自家組織乳房再建手術を受けられた患者さんの年齢・BMI・乳腺切除量・皮弁採取量・皮弁移植量・合併症などをカルテ解析し、それらの比率についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、BMI、乳腺切除量、皮弁採取量、皮弁移植量、エキスパンダー挿入時の胸郭変形、合併症

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「共同倫理指針ガイドライン」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 形成外科・再建外科・美容外科 助教・医員 井上真梨子

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：25578

メールアドレス：s11-012im@nms.ac.jp